



平成 26 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ニューテック
 代表者名 代表取締役社長 笠原 康人
 (JASDAQ コード番号 6734)
 問合せ先 取締役管理部長 宮崎 有美子
 電 話 03-5777-0888

平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月2日の第1四半期決算発表時に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年2月期 第2四半期累計期間業績予想の修正 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,000	9	2	1	0.84
今回修正予想 (B)	869	△56	△63	△65	△34.33
増減額 (B-A)	△130	△65	△65	△67	—
増減率 (%)	△13.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年2月期 第2四半期)	1,006	21	19	18	9.54

2. 平成27年2月期 通期業績予想の修正 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,250	99	86	85	44.37
今回修正予想 (B)	2,120	35	22	17	9.00
増減額 (B-A)	△130	△64	△63	△67	△35.37
増減率 (%)	△5.8	△64.4	△73.6	△79.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	2,113	84	74	72	37.79

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の消費の落ち込みが懸念されましたが、業種により一過性の消費の低迷はあったものの、円安傾向により国内景気は、大手輸出企業を中心に業績は堅調に推移しており緩やかに回復しております。然しながら、業種によっては、いまだ回復し

てない企業も多くあり、国内の IT 関連投資に関しても、各企業の設備投資需要はまちまちであります。

この様な環境の下、当社では OEM 製品について、新規の取引先の拡大と新製品の開発に注力しました。一方、主力の自社製品 RAID Supremacy シリーズは開発中であることや、一般商社や独立行政法人向けの販売低迷も影響して売上高は減少し、更に利益率の低い OEM 先の売上構成比が増大したこともあり、売上損益率が低下（前年同期比△2.4%）しました。その結果、業績予想は売上高で 130 百万円（△13.0%）下回る見通しとなりました。損益面でも、売上高の減少と売上損益率の低下により、売上損益額が計画より 58 百万円減少し、当初見込みより、営業利益△65 百万円、経常利益△65 百万円、当期純利益△67 百万円減少する見通しであります。

又、平成 27 年 2 月期 通期業績予想の修正（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）に関しても売上高については、第 2 四半期累計期間の減少額と同額減額し、2,120 百万円、利益額についても、第 2 四半期累計期間の減少額と同程度減額し、営業利益 35 百万円、経常利益 22 百万円、当期純利益 17 百万円を見込んでおります。

（注）1. 本資料に記載しております業績予想数値は、現時点で入手可能な資料に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があることにご留意ください。

以上